

ねらい

チームが成長していく過程を体感してもらう。

伝えたいこと

チームにとって大切なことを意識していこう。

● 導入

- ・4人でチームをおつくりください。(3人でも5人でもできます)
- ・1チームあたりに、ハサミを1つ、ストローを200本、セロテープ1つを配布します。

● ルール説明

- ・これから、このストローを使って、タワーをつくっていきます。
- ・どのチームがつくるタワーが一番高くなるかを競うゲームです。
- ・手を離れた状態で、30秒間、倒れることなく立っていられることが条件です。

● 打ち合わせしてもらう

- ・これから4つのフェーズを経て、ストロータワーをつくっていきます。
- ・では1つ目です。打ち合わせをしていきましょう。
- ・実際にストローを手にとって、どうするかを話し合います。ただし組み立ててはいけません。

● 試作してもらう

- ・では2つ目です。試作してみましょう。
- ・ただし、ここでつくったパーツは、本番では使用することはできません。
- ・ストローは補充しませんので使いすぎに注意です。打ち合わせた内容を元に、実際に試みましょう。

● 最終打ち合わせしてもらう

- ・では3つ目です。最終打ち合わせをしていきます。
- ・試作してみた結果、これでいいのか、修正が必要なのか。話し合ってください。

● 本番制作

- ・では最後のフェーズです。本番でつくっていきましょう。時間は25分です。用意、スタート。

● 確認と表彰

- ・はい、ここまでです。では、30秒時間を計るので、手を離して自立するか確認しましょう。
- ※30秒計測する
- ・一番高いチームは○○です。おめでとうございます。拍手！

● 振り返りのフリーディスカッション

- ・では、ここまでをやってみて思ったことや、感じたことをお伝え合ってください。

●しつもんする「チームとして目標を達成していくために大切なことは？」

- ・では1つ質問をしますね。
- ・「チームとして目標を達成していくために、大切なことは何だと思えますか？」
- ・これまでのことをやってみて、「これがよかった」「こうしておけばよかった」などでもOKです。

○答えを書いてもらう

- ・はい、ありがとうございます。では、書いた答えをチームの中でお伝え合ってください。

○伝え合ってもらおう

- ・はい、ありがとうございます。

●解説

- ・4つの段階があります。まずは「チームが生まれる段階」です。
- ・ここ大切なのは、ゴールを共有すること。「我々が目指すべきところはどこか？」
- ・人が集まったらグループと呼び、目標を共有したグループはチームと呼ばれます。
- ・そもそもお互いのを知り合うのも大切。「お互いをもっと知るために何ができるだろう？」

- ・次の段階は「お互いの価値観がぶつかりあう段階」です。
- ・ここでは、アイデアや価値観を出し合っていきます。「どんなアイデアがあるだろう？」
- ・ただし、アイデアを批判否定するメンバーがいると、ここは混沌期になり、抜け出せません。
- ・何でも言える環境をつくるのが大切。「安心して何でも言えるようになるために何を意識しよう？」

- ・次の段階は「方向性が定まる段階」です。
- ・お互いの価値観を受け止め、一体感が生まれます。「違いを受け止めるために何を意識しますか？」
- ・方向性が定まります。「アイデアを選定する基準は何ですか？」
- ・必要に応じて行動規範をつくります。「どんなルールが、お互いの動きやすさをつくりますか？」
- ・そして役割分担を決定します。「誰がどんな役割を担うことが最高だろう？」

- ・最後の段階は、「成果を出していく段階」です。
- ・ここまでの段階を経て、成果を受け取っていきます。
- ・チームの維持も意識していきたいところです。「一体感をもっと感じるために何ができますか？」

●振り返りのフリーディスカッション

- ・では、ここまでを聞いて、思ったことや感じたことをお伝え合ってください。

●まとめ

- ・特に、お互いの価値観がぶつかり合う段階を、いかに健全に進められるかがカギになります。
- ・これはチームリーダーの役割の大きな部分でもあります。できればメンバーも意識したいですね。

ポイント

-
-
-

講師の道具箱